

製品名: Sck ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17647**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	SHC2
別名	SHC2; SCK; SHCB; SHC-transforming protein 2; Protein Sck; SHC-transforming protein B; Src homology 2 domain-containing-transforming protein C2; SH2 domain protein C2
遺伝子 ID	25759.0
SwissProt ID	P98077
免疫原	抗血清はヒト SHC2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 261-310

背景

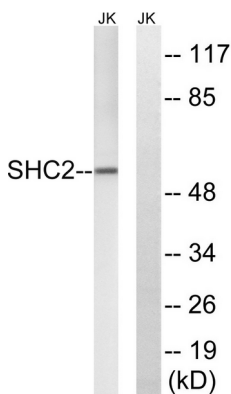
ドメイン: PID ドメインは TrkA 受容体への結合を媒介します。機能: 活性化成長因子受容体をニューロンのシグナル伝達経路に連結

するシグナル伝達アダプター。皮質ニューロンにおける神経栄養因子活性化 Trk 受容体のシグナル伝達経路に関与します。、その他: PubMed:15057824 は、PubMed:12006576 とは逆に、SHC2 は Trk 受容体によってほとんどリン酸化されないことを示しています。、PTM: Trk 受容体によってチロシンがリン酸化されます。、類似性: 1つの PID ドメインを含みます。、類似性: 1つの SH2 ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化チロシン依存的に Trk 受容体および MEGF12 と相互作用します。活性化されると GRB2 に結合します。、組織特異性: 脳で発現します。視床下部で高発現し、尾状核で低発現しています。、ドメイン: PID ドメインは TrkA 受容体への結合を媒介します。、機能: 活性化成長因子受容体をニューロンのシグナル伝達経路に連結するシグナル伝達アダプター。皮質ニューロンにおける神経栄養因子活性化 Trk 受容体のシグナル伝達経路に関与しています。、その他: PubMed:15057824 は、PubMed:12006576 とは逆に、SHC2 は Trk 受容体によってほとんどリン酸化されないことを示しています。、PTM: Trk 受容体によってチロシンがリン酸化されます。、類似性: 1つの PID ドメインを含みます。、類似性: 1つの SH2 ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化チロシン依存的に Trk 受容体および MEGF12 と相互作用します。活性化されると GRB2 に結合する。、組織特異性: 脳で発現。視床下部で高発現、尾状核で低発現。、

研究分野

ErbB_HER;ケモカイン;VEGF;接着斑;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害;神経栄養因子;インスリン受容体;神経膠腫;慢性骨髄性白血病;

画像データ



SHC2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。